

オンライン版

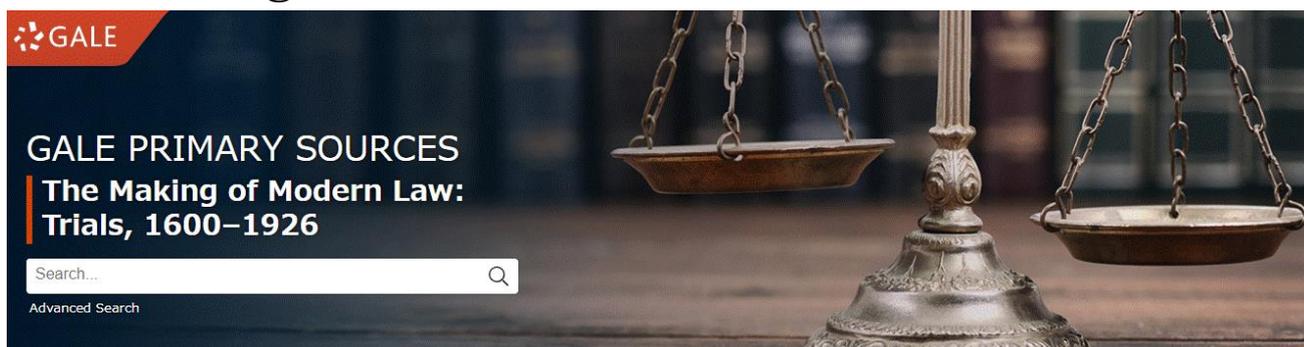
近代法の源流と発展を探る MOML シリーズ

近世から近代にかけての英米の訴訟関連出版の集大成



## 近世近代英米法裁判関係文献データベース

## The Making of Modern Law: Trials 1600-1926 (MOML 3)



近世から近代にかけての英米を中心とする様々な裁判記録を集大成し、全文検索・閲覧を可能にするオンライン・データベースです。収集文献は、ハーバード・ロースクール図書館、イェール・ロースクール図書館、ニューヨーク市弁護士会図書館から集められています。収録対象はイギリス・アメリカ・カナダ・アイルランドのような英語圏の管轄を中心としていますが、フランスなど他の管轄の裁判に関する英語文献も含まれています。これらの裁判記録は憲法、商法、選挙、弾劾、国際法、土地・不動産、名誉棄損、軍事犯罪、窃盗、不法行為、反逆、遺産相続等あらゆる領域を網羅しています。また、歴史に残る著名な裁判はもとより、法の進展においては「重要」とはみなされない無名の裁判をもすくい上げています。English Reports や US.S.C.R 等の主要判例集を補完すべきデータベースとなっています。

## 法学にとどまらず学際的な利用が可能

収録資料には、ジェンダー、性、暴力、人種問題、奴隷制度、家庭問題など、当時の社会のタブーにあたる事項や、通常の文献では言及されにくい事項も記されているため、当時の社会や生活実態について詳しく知ることができます。また、当時注目を浴びた事件やセンセーショナルな社会報道を通じて、当時の社会心理や倫理観、報道のされ方などについてみていく上でも極めて貴重な資料となります。

- 【データベース仕様】 ◇ 収録タイトル数：9,000 点以上 ◇ 総ページ数：180 万ページ以上  
◇ 収録年：1600 年代～1926 年 ◇ 言語：英語  
◇ 原本所蔵機関：ハーバード・ロースクール図書館、イェール・ロースクール図書館、ニューヨーク市弁護士会図書館など

## 【収録される主題と裁判 一例】

商法 (Charles River Bridge 1837) 憲法 (Dred Scott 1857) 選挙 (George Rose) 弾劾 (Andrew Johnson 1868) 国際法 (Chamizal Dispute 1911) 土地 (Martha Bradstreet 1834) 名誉棄損 (Hugh Fitzpatrick 1810) 軍事犯罪 (James Barron 1820) 盗難 (Jonathan Wild 1725) 不法行為 (James Bailey 1843) 反逆罪 (Aaron Burr 1807) 相続 (Girard Will Case 1844)

無料トライアル 受付中

G.C.17398



(Gale, Cengage Learning / 指定代理店)

次頁以降もご覧ください→

【収録対象】

- ・公刊された裁判記録・弁論趣意書・摘要書
- ・非公式に出版された裁判関係文献
- ・立法措置(legislative proceedings)、行政手続(administrative proceedings)、仲裁裁判(arbitrations) の公式な記録

\*複数の裁判に関する書籍や単独の裁判のみを扱うパンフレット類は含みますが、裁判手続全般や法原理、弁護技術関連書、また裁判と関係のない犯罪に関する文献は含みません。

The Making of Modern Law: Trials 1600-1926 (MOML 3)

価格表 ご契約方法：[データベース購入型] コンテンツ料(導入時のみ)+アクセスフィー(毎年)

教員学生数	~5,000	5,001~15,000	15,001~30,000	30,001~
コンテンツ料	お問い合わせください			
アクセスフィー	お問い合わせください			

- 消費税に関しましては税制の改正に則った内容で対応させていただきます。掲載製品はリバースチャージ対象製品です。
- 原価の改定、為替相場の変動などの理由による価格の変更や掲載タイトルの変更につきましては、予めご了承の程お願い申し上げます。
- お見積りは、別途ご用命ください。

The Making of Modern Law: Legal Treatises, 1800-1926 (MOML 1) ご導入済み機関向けの特別価格もございます。

- ご契約の際は、所属機関の IP アドレスが必要となります。
- 同時ユーザー数は無制限です。

【収録文献の例】

裁判集

- 『イギリスとアイルランドにおける特筆すべき死刑裁判の歴史』(全 2 巻、1725)
- ガイヨド・ピタヴァル『有名で興味深い裁判集』(フランス語、全 22 巻、1748-1765)
- 『血塗られた記録:殺人、反逆、強姦、ソドミー、追剥ぎ、海賊、押込み、偽証、偽造、その他重罪、軽罪の特筆すべき裁判集』(全 4 巻、1764)
- ジェイムズ・モンタギュー『オールド・ベイリー・クロニクル』(全 4 巻、1788)
- アンドリュー・ナップ、ウィリアム・ボールドウィン『新ニューゲイト・カレンダー』(全 6 巻、1810)
- ジョージ・セオドア・ウィルキンソン『ニューゲイト・カレンダー改訂』(全4巻、1820)
- カムデン・ペラム『犯罪クロニクル、あるいは新ニューゲイト・カレンダー』(全 2 巻、1891)
- ジョン・マクドネル、ジョン・E・P・ウォリス『政治裁判判例集新シリーズ』(全 8 巻、1888-1898)

国王裁判

- 『1648 年 1 月 20 日にウェストミンスターホールで始められた国王チャールズ 1 世裁判』(1648、英)
- 『フランス国王ルイ 16 世裁判』(英語、1793、仏)
- 『1793 年 10 月 15 日、パリ革命裁判所でのフランス王妃マリー・アントワネット裁判』(英語、1793、仏)
- 『バルトロメオ・ベルガミとの姦通によるキャロライン・アメリア・エリザベス王妃の全裁判記録』(全 3 巻、1820、英)

大逆罪、反逆罪

- エドモンド・ゴールドスミス『アンリ 4 世の暗殺者フランソワ・ラヴァイヤック裁判』(英語、1610/1885、仏)
- ジョン・ラッシュワース『大逆罪の弾劾によるアイルランド総督トマス・ストラフォード伯爵裁判』(1640/1680、英)
- 『チャールズ 1 世の治世以降のあらゆる大逆罪の裁判と私権剥奪の歴史』(1716、英)
- 『過去 300 年間の大逆罪他犯罪集、私権剥奪法と弾劾手続を含む』(全 5 巻、1720、英)
- 『ロベール=フランソワ・ダミアン裁判記録』(フランス語、1757、仏)
- 『大逆罪によるジョージ・ゴードン卿裁判』(1781、英)
- T・カーペンター『反逆罪で起訴されたアロン・バー裁判』(全 3 巻、1807/1808、米)
- T・B・ハウエル、T・J・ハウエル『古代から現在までの政治裁判、大逆罪等の裁判完全集成』(全 42 巻、1811-1826)

弾劾裁判

- 『ヘンリー・サッシュヴェレルの庶民院弾劾裁判』(1710、英)
- 『ウォーレン・ヘイスティングズ裁判』(全 10 巻、1788-1794、英)
- チャールズ・エヴァンズ『合衆国最高裁判事サミュエル・チェイス裁判報告』(1805、米)
- 『合衆国大統領アンドリュー・ジョンソンの上院弾劾裁判』(全 3 巻、1868、米)



	Operating Revenues—Steam Boilers				
	Year	1910	1911	1912	1913
Operating Revenues	\$ 1,739,261	\$ 1,739,261	\$ 1,739,261	\$ 1,739,261	\$ 1,739,261
Transportation Revenues	500,000	500,000	500,000	500,000	500,000
Freight Revenues	2,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000
Passenger Revenues	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000
Mail Revenues	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000
Telegraph Revenues	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000
Telephone Revenues	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000
Power Revenues	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000
Other Revenues	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000
Total Operating Revenues	\$ 1,739,261	\$ 1,739,261	\$ 1,739,261	\$ 1,739,261	\$ 1,739,261

## 軍法会議

- チャールズ・ファーン『軍法会議によるジョン・ビング提督裁判』(1757、英)
- 『軍法会議によるジョージ・サックヴィル卿裁判』(1760、英)
- 『軍法会議によるオーガスタス・ケッペル提督裁判』(1779、英)
- 『ワシントンの命令により開催されたジョン・アンドレ少佐に関する将官会議議事録』(1780、米)
- 『ベネディクト・アーノルドの反逆罪』(1780、米)
- フレッド・C・コニーベア『ドレフュス裁判』(英語、1894/1899、仏)

## 反乱

- 『ノアでの海軍艦隊上で反乱を起こしたリチャード・パーカーの裁判』(1797、英)
- アレクサンダー・マッケンジー『アメリカ海軍戦艦ソマーズ号反乱調査委員会議事録』(1843、米)

## 殺人・暗殺

- 『ジョン・スワンとエリザベス・ジェフリーズ裁判』(1752、英)
- ウィリアム・ラフヘッド『バークとヘア』(1828/1921、英)
- ジョージ・フレッチャー『ルージーリーのウィリアム・パーマー博士の生涯と職歴、ジョン・クック殺人の完全なる解説と1856年5月の裁判の概略を含む』(1856、英)
- 『ミニー・ランジェリエ、あるいはマデリーン・スミス裁判』(1857、英)
- 『トマス・スメサースト裁判、殺人容疑の裁判、刑の宣告、執行猶予、赦免と重婚による起訴』(1859、英)
- ウィリアム・ラフヘッド『ジェシー・マクラクラン裁判』(1862/1925、英)
- 『妻と継母の毒殺容疑によるE・W・プリチャード裁判の完全なる報告』(1865、英)
- 『リンカーン大統領の暗殺者と共謀者の裁判』(1865、米)
- エドウィン・H・ポーター『フォールリバーの悲劇:ボーデン殺人事件』(1893、米)

## 海賊行為

- 『六つの殺人と海賊行為の事件に関するウィリアム・キッド船長の起訴、裁判、有罪宣告』(1701、英)
- 『最も悪名高き海賊とその手下たちの生涯』(1725、英)

## 共謀・文書煽動

- 『反イギリス政府の煽動文書発行により起訴され、無罪宣告を受けたジョン・ピーター・ゼンガーの裁判』(1738、米)
- 『ジョン・ウィルクス裁判文書・書簡全集』(1763/1767、英)
- 『「人間の権利」第2部の文書煽動容疑によるトマス・ペイン裁判』(1792、英)
- 『文書煽動裁判:国王対『モーニング・クロニクル』紙発行人ジョン・ランバート他』(1794、英)
- 『反政府文書煽動によるサー・フランシス・バーデット裁判』(1820、英)
- 『文書煽動容疑で起訴された呉服屋サミュエル・クック裁判』(1827、英)
- 『共謀煽動容疑によるファーガス・オコナーと58人のチャーチスト活動家裁判』(1843、英)

## 名誉毀損

- ウィリアム・リッジウェイ『リッチモンド公爵への名誉毀損によるヒュー・フィッツパトリック氏裁判の報告』(1810/1813、英)
- 『キリスト教への名誉毀損によるユニテリアン派裁判』(1830)

## 魔術、異端、瀆神

- 『ハートフォードシャーのウォルカーンのジェイン・ウェナムにより実施されていた魔術の発見に関する完全で公平な解説』(1712、英)
- 『異端容疑で告発されたライマン・ビーチャー師裁判』(1835、米)
- 『異端容疑で告発されたアルバート・バーンズ師裁判』(1836、米)
- 『瀆神容疑で告発されたジョージ・ジャコブ・ホリヨーク裁判』(1842、英)

## 離婚

- 『性的不能裁判:フランセス・ハワードとエセックス伯ロバートの離婚裁判』(1613/1711、英)
- 『グランヴィル・パティソンとの姦通を理由とするアンドリュー・ユアと妻キャサリンの離婚裁判の全貌』(1819、英)
- ハロルド・ファーンイス『キャンベル夫妻離婚裁判』(1887、英)
- 『クロフォード夫妻離婚裁判』(1887、英)

## 姦通

- 『アンクラム伯爵との姦通によるベルモア子爵夫人裁判』(1792、英)
- 『姦通裁判、あるいは離婚の歴史』(全6巻、1779-1781、英)
- 『姦通裁判新完全コレクション、あるいは不義密通と離婚の歴史』(全4巻、1796)
- 『カッコールド・クロニクル:姦通、近親相姦、強姦関係裁判集』(1798)

JUDGING FROM HIS RECORD IN AND OUT OF OFFICE, HE PROBABLY WILL BE:  
On February 14, 1935, on the editorial page of the Tribune under the title "Marc Antony Sewell at Caesar Sam's Funeral," the Tribune published the following cartoon:

Marc Antony Sewell at Caesar Sam's Funeral



## 重婚

- 『重婚、同棲、姦通、離婚裁判』(1732、英)
- 『重婚容疑によるキングストン公爵未亡人エリザベスの裁判』(1776、英)
- 『重婚容疑で起訴されるも完全な無罪が証明されたジェームズ・スタンプ・サットン・クックの特筆すべき裁判』(1823)

## 性犯罪

- 『キャッスルヘイヴン伯マーヴィン・オードリーのソドミー裁判』(1631/1708、英)
- 『サラ・サットン夫人への強姦により起訴されたトマス・リドウェル裁判の真正なる報告』(1800、英)
- 『アデリア・M・マシューズ夫人の強盗殺人。ジョン・マリオン・オズボーンの裁判、有罪判決、刑の宣告』(1873、米)
- 『オスカー・ワイルド三度の裁判』(1895/1920、英)

## 偽証

- 『故意で邪悪な偽証によるタイタス・オーツの裁判と有罪宣告』(1685、英)
- トマス・ガーニー他『故意で邪悪な偽証による未婚婦人エリザベス・カニングの裁判』(1754、英)
- 『パーシヴァル子爵夫人の偽証告発によるジョン・ミトフォードの重要な裁判』(1815、英)
- 『ティッチボーン裁判:女王座裁判所首席裁判官による摘要』(1871/1874、英)

## 誘拐

- 『誘拐による保安官補ヘンリー・W・アレン裁判』(1852、米)
- 『小児チャーリー・ロス誘拐によるウィリアム・H・ウェスターヴェルトの生涯、裁判、有罪宣告』(1876、米)

## 強盗・窃盗・押込み・追剥ぎ

- 『悪名高き押込み強盗にして追剥ぎ、ジャック・シェパードの生涯。その強盗歴の完全なる解説』(1724/1829、英)
- 『ジョナサン・ワイルドの生涯と裁判の詳細な物語』(1725/1810、英)
- 『悪名高き追剥ぎリチャード・ターピンの全生涯と裁判』(1739、英)
- 『著名な追剥ぎにして、死刑宣告を受けて現在ニューゲイト監獄に収監されているウィリアム・ホークの生涯』(1774、英)

## 詐欺・偽造

- 『イングランド銀行券偽造により処刑されたジョン・マシーソンの生涯』(1779、英)
- ホレーズ・ブリークレー『ヘンリー・フォントルロイほか、有名偽造裁判』(1824/1924、英)
- シートン・レイン『都市の大詐欺師コール、デヴィッドソン、ゴードンの全貌』(1856、英)

## 放火

- 『放火容疑によるアルバート・ティレルの裁判』(1846、米)
- P・S・レイトン『ミシシッピ州メリディアンフェニックスホテル放火事件の簡潔な説明』(1877、米)

## 奴隷

- 『アミスタッド号虜囚たちの人身保護令状に関する裁判』(1839、米)
- 『ボストン奴隷反乱とアンソニー・バーンズ裁判』(1854、米)
- ベンジャミン・C・ハワード『ドレッド・スコット対ジョン・サンフォード裁判における合衆国最高裁判決と判事意見の報告』(1857、米)
- 『「オサワトミーの老ブラウン」として知られるキャプテン・ジョン・ブラウンの生涯、裁判、処刑。ハーパーズ・フェリーの反乱の完全なる解説を含む』(1859/1860、米)

## 国際仲裁

- 『1871年の条約に基づき招集されたジュネーヴ仲裁裁判所におけるアメリカ合衆国の弁論』(1871、米)
- 『1871年の条約に基づき招集されたジュネーヴ仲裁裁判所におけるイギリスの弁論』(全3巻、1872、英)
- 『チャミザル仲裁:米墨国境委員会におけるアメリカ合衆国の弁論』(1911)
- 『米英間紛争仲裁』(全4巻、1913)

## イギリス植民地

- 『1803年のアイルランド反乱の指導者ロバート・エメットの生涯、裁判、談話』(1803/1845)
- 『1838年、1839年にモントリオールで開廷した一般軍法会議政治裁判の記録:ローワーカナダにおける近時の反乱の全貌』(全2巻、1839)
- 『女王対ダニエル・オコンネル、ジョン・オコンネル他裁判特別報告』(1844、英)
- 『アイルランド政治裁判公認報告』(1844)
- W・F・フィンレイソン『ジャマイカ事件:黒人反乱の原因、反乱の経緯、鎮圧まで公的資料に基づき解説する』(1869)